

3年ぶりの開催 忍者トレイルランニングレース

シニア世代もランナーとして参加。
疲れをものともせず、見事にゴール



トレイルランナーとして走ってみると、見慣れた地元の自然でも新たな魅力を見つけることができるかもしれません



1. 忍者コスチュームに身を包んで参加したランナーは、写真映え必至 2. やはり忍者は外国人に大人気のコンテンツ 3. 地域の住民自治議議会のメンバーがローカルフードを提供 4. みんなそろって忍者ボーズ! この記念撮影で大会は幕を閉じます 5. 登りあり、下りあり。過酷な未舗装路を思い思いのペースでランナーが駆け抜けます 6. 軽快なジャンプでコースを駆け抜けれるランナー。まるで現代の忍者!?

今年はランナーの数を
例年の6割に抑えて開催

当初から恵川さんは、「ランナーだけが楽しむのではなく、地域の大人と子どもも巻き込み、ひとつになつて盛り上がるイベ

「安心・安全な本大会をつくり上げるために、まず昨年10月に30人規模、そして今年の春に300人規模での実証実験レースを行いました」と話すのは、忍者トレラン発起人で実行委員長を務める恵川裕行さんです。実証実験レースでは、全参加者の抗原検査に加えて、スマートフォンアプリを使った2週間の健康チェック、ワクチン接種記録とPCR検査結果の提出、非対面の受付やスタッフのチャットツールの利用といった取り組みがなされました。「2回の実証実験レースを踏まえ、感染対策の基盤は構築できました」と笑顔を見せる恵川さん。「忍者トレイルランは、地域活性化にも役立っているイベントなので、ようやく開催にこぎ着けることができてほっとしています」と続けました。

化にも役立っているイベントなので、ようやく開催にこぎ着けることができてほっとしています」
忍者トレイルランニングレース実行委員長 恵川裕行さん

コースのバリエーションの豊かさが挙げられます。山と山をつなぐロードはもちろん、起伏の激しい山岳区間、多様な植生に癒される区間、西教山や靈山を望む眺望エリア、ハイカーにも人気の田代池など、ランナーは伊賀の豊かな自然を堪能できます。また、トレランの大会では珍しいタイ

ムアタックに挑める「服部半蔵区間」も設定されました。この区間は、よりアグレッシブな走りになるとからランナーの間で「忍者修行」といわれています。

今年は3年ぶりの開催となりました。今年は「来年あたりは規模を戻して大々的にできるといいますね」と恵川さん。大会の開催日は11月6日(日曜)、伊賀の里山を颯爽と走る忍者ランナーの応援にかけてみませんか。

忍者トレイルランニングレース(以下、忍者トレイルラン)は、2016年にプレ大会が開かれました。参加者からは概ね高評価を得て、翌年に改善を加えた上で晴れて第1回大会を開催。その後2回、3回と開催を重ね、徐々に知名度が高まってきたところに、新型コロナウイルスの感染が拡大します。全国各地のイベントが中止に追い込まれる中、忍者トレランの実行委員会も同じ判断を下さざるを得ませんでした。2022年秋現在、コロナ禍に

伊賀の里山を舞台とする令和の忍者修行、「忍者トレイルランニングレース」が3年ぶりに開催決定。ランナーはもちろん、地域住民も期待を寄せるこのイベントの裏側をリポートします。

実証実験レースを開き 感染対策の基盤を構築



コース上でランナーを待ち構える忍者の刺客。斬られて喜ぶランナーがいっぱいです



INFO

第4回 忍者トレイルランニングレース

日時	11月6日(日曜)
場所	スタートとゴール地点: さるびの温泉
問い合わせ	0595-48-0268(忍者トレイルランニングレース実行委員会 さるびの温泉内)
WEB	https://ninjatrailrun.com/

